



平成29年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月7日

上場会社名 株式会社 サカタのタネ

上場取引所 東

コード番号 1377 URL <http://www.sakataseed.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂田 宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長兼経理部長 (氏名) 宇治田 明史

TEL 045-945-8800

四半期報告書提出予定日 平成28年10月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年5月期第1四半期の連結業績(平成28年6月1日～平成28年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|------|-------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年5月期第1四半期 | 15,630 | 3.9 | 4,764 | 24.2 | 4,899 | 22.7 | 3,556 | 41.7 |
| 28年5月期第1四半期 | 15,047 | 10.1 | 3,837 | 37.3 | 3,992 | 28.8 | 2,509 | 25.3 |

(注) 包括利益 29年5月期第1四半期 121百万円 (△96.5%) 28年5月期第1四半期 3,441百万円 (46.4%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年5月期第1四半期 | 79.02 | — |
| 28年5月期第1四半期 | 55.77 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | |
|-------------|---------|---|--------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年5月期第1四半期 | 106,127 | | 88,319 | | 83.1 | |
| 28年5月期 | 108,859 | | 88,886 | | 81.5 | |

(参考) 自己資本 29年5月期第1四半期 88,177百万円 28年5月期 88,745百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| 28年5月期 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年5月期 | — | 10.00 | — | 15.00 | 25.00 |
| 29年5月期(予想) | — | 10.00 | — | 13.00 | 23.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年5月期の連結業績予想(平成28年6月1日～平成29年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|--------|------|-------|-------|-------|-------|-----------------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 25,300 | △9.3 | 3,900 | △21.9 | 4,000 | △23.1 | 2,800 | △15.7 | 62.22 |
| 通期 | 56,100 | △4.5 | 6,000 | △18.0 | 6,300 | △16.6 | 4,400 | △15.6 | 97.77 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 0社 (社名) 、 除外 0社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 29年5月期1Q | 48,410,750 株 | 28年5月期 | 48,410,750 株 |
| 29年5月期1Q | 3,408,196 株 | 28年5月期 | 3,407,881 株 |
| 29年5月期1Q | 45,002,759 株 | 28年5月期1Q | 45,004,357 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に関するレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際に業績は、今後様々な要因によって予測数値に異なる結果になる可能性があります。業績予想に関連する事項については、4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 5 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 5 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 5 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 5 |
| (4) 追加情報 | 5 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 6 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 6 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 8 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 8 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 9 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (セグメント情報等) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

| | 売上高 (百万円) | 営業利益 (百万円) | 経常利益 (百万円) | 親会社株主に 帰属する 四半期純利益 (百万円) | 1株当たり 四半期純利益 (円) |
|----------------|--------------|---------------|---------------|-----------------------------------|------------------------|
| 平成29年5月期 第1四半期 | 15,630 | 4,764 | 4,899 | 3,556 | 79.02 |
| 平成28年5月期 第1四半期 | 15,047 | 3,837 | 3,992 | 2,509 | 55.77 |
| 前年同期比 | 582 | 927 | 906 | 1,046 | 23.25 |
| 増減率 | 3.9% | 24.2% | 22.7% | 41.7% | — |

当第1四半期連結累計期間（平成28年6月1日から平成28年8月31日まで）における世界経済の状況を見ますと、米国は底堅い個人消費、住宅投資などを背景に、景気回復基調が持続しており、欧州経済は、景気は緩やかに回復しているものの、英国のEU離脱決定等を巡る不確実性が増大しつつあります。また、新興国経済は、インドでは総じて高い成長率が続いていますが、中国経済が鈍化し、またブラジルにおいては資源価格の下落の影響で、深刻な景気後退が長期化しております。

わが国経済は、企業収益や雇用情勢は改善基調にあり、全体としては緩やかな回復を続けています。しかしながら米国の利上げ延期や英国のEU離脱などの影響により急速に円高が進んだ結果、企業の景況感が悪化するなど、先行きに不透明感も強まっております。

当種苗業界は、国内需要は頭打ちの状況が続いておりますが、海外におきましては、成長を継続している新興国を中心に、野菜種子、花種子の需要は拡大を続けております。

このような状況のなか、当社グループの国内卸売事業は、野菜種子、苗木が好調に売上を伸ばした結果、前年同期比増収となりました。海外卸売事業につきましては、円高の厳しい環境ではありましたが、当初第2四半期連結会計期間以降に予定しておりました野菜種子の売上の一部が当第1四半期連結会計期間に前倒して計上されたこともあり、野菜種子売上が大幅に増加し、前年同期比増収となりました。一方、小売事業は、不採算商品の削減に加え、天候不順により園芸関連の消費が冷え込み、前年同期比大幅減収となりました。

以上の結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は156億30百万円（前年同期比5億82百万円、3.9%増）となりました。営業利益は、利益率の高い野菜種子の売上増加が売上総利益を押し上げた結果、47億64百万円（前年同期比9億27百万円、24.2%増）となりました。また経常利益は、円高の進行により為替差損が1億11百万円（前年同期比62百万円、127.4%増）発生したものの、営業利益の増加を受けて、48億99百万円（前年同期比9億6百万円、22.7%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益も、35億56百万円（前年同期比10億46百万円、41.7%増）と前年同期比増益となりました。

当第1四半期連結累計期間の海外連結子会社等の連結対象期間は4－6月であり、財務諸表項目（収益及び費用）の主な為替レートは、次のとおりです。

| | 第1四半期 |
|-----|------------------|
| 米ドル | 102.96円（122.48円） |
| ユーロ | 114.36円（137.20円） |

注：（ ）内は前年同期の換算レート

セグメント別の業績の概要は次のとおりです。

①国内卸売事業

国内卸売事業は、花種子、資材の売上が減収となりましたが、野菜種子、苗木の売上が大幅に伸びた結果、前年同期比増収となりました。野菜種子はブロッコリー、ニンジンを中心に大幅に売上を伸ばしました。花種子は市況、景気低迷による作付減、種子から苗木への需要移行により減収となりました。資材は農業用ハウス関連資材の需要減少、前期大幅に伸びたオリジナル培養土の反動減が響き、減収となりました。苗木は生産体系における分業化が継続的に進み、営利向けのパンジー・ビオラのセル苗及びトマトのセル苗・ポット苗が順調に売上を伸ばし、増収となりました。

これらの結果、売上高は、前年同期比1億98百万円（同4.2%）増の49億24百万円となり、営業利益は同比79百万円（同3.3%）増の25億1百万円となりました。

②海外卸売事業

それぞれの地域別の状況を見ますと、アジア向け輸出は、ブロッコリー、トルコギキョウ、ヒマワリなどが伸びたことから前年同期比増収となりました。北米につきましては、ブロッコリー、メロン、ハウレンソウなどの野菜種子が好調に推移したことから前年同期比大幅増収となりました。欧州では、トルコギキョウが伸び、花種子は増収となりましたが、野菜種子が為替の影響から減収となり、全体でも前年同期比減収となりました。南米につきましては、トマトなどの野菜種子が好調に推移し、前年同期比増収となりました。

品目別では、野菜種子ではブロッコリー、ハウレンソウ、トマト、スイカなどが売上を大きく伸ばし、前年同期比増収となりました。花種子につきましても、トルコギキョウやヒマワリの売上が伸びたことなどから増収となりました。

これらの結果、売上高は、前年同期比5億9百万円(同6.1%)増の89億4百万円となり、営業利益は同比8億29百万円(同23.9%)増の43億2百万円となり、増収増益となりました。

③小売事業

ホームガーデン分野は、天候不順の影響を受け、特に資材の販売不振が大きかったこと、また、前期から引き続き、不採算商品の削減を行っていることにより、売上高は前年同期比大幅減収となりました。一方、利益面では、売上の減少を補うだけの業務コストを削減できず減益となりました。

通信販売分野では、サカタ友の会の新制度(Web会員制度)への移行が完了しました。印刷物として刊行していた紙媒体の「園芸通信」を電子媒体へ切り替えるなどにより経費を圧縮することができました。天候不順の影響もあり、売上は減収となったものの、利益面では電子媒体活用の成果により改善しております。

ガーデンセンターでは、イベントとセール開催の頻度を増やしたことにより、種子と植物の売行きは好調でしたが、ノベルティ商品の販売不調が大きかったために減収となりました。

これらの結果、売上高は、前年同期比1億90百万円(同10.3%)減の16億61百万円となりました。一方、売上減少を受けて営業損益は1億26百万円の損失(前年同期は57百万円の営業損失)となりました。

④その他事業

造園緑花分野は、大型民間工事が完工となり前年同期比大幅増収となりました。

これらの結果、売上高は、前年同期比63百万円(同83.9%)増の1億39百万円となり、営業損失は1百万円原価が改善し、23百万円の損失(前年同期は25百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

| | 前連結会計年度末 | 当第1四半期 連結会計期間末 | 増減 |
|-------------|----------|-------------------|--------|
| 総資産(百万円) | 108,859 | 106,127 | △2,732 |
| 純資産(百万円) | 88,886 | 88,319 | △567 |
| 自己資本比率(%) | 81.5% | 83.1% | — |
| 1株当たり純資産(円) | 1,972.00 | 1,959.38 | △12.62 |
| 借入金の残高(百万円) | 5,032 | 4,645 | △386 |

①資産の部

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ27億32百万円減少し、1,061億27百万円となりました。これは、現金及び預金が4億68百万円、その他流動資産が3億96百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が6億95百万円、たな卸資産が3億16百万円、有形・無形固定資産が7億53百万円、投資有価証券が13億22百万円、長期繰延税金資産が3億94百万円減少したことなどによるものです。

②負債の部

負債合計は、前連結会計年度末に比べ21億65百万円減少し、178億7百万円となりました。これは未払法人税等が4億14百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が8億13百万円、短期借入金が3億77百万円、その他流動負債が4億11百万円、長期繰延税金負債が7億96百万円減少したことなどによるものです。

③純資産の部

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ5億67百万円減少し、883億19百万円となりました。これは利益剰余金が28億81百万円増加した一方で、その他有価証券差額金が9億82百万円、為替換算調整勘定が24億81百万円減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の平成28年5月期決算短信（平成28年7月11日発表）で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当社及び主たる国内連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年5月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成28年8月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 18,321 | 18,789 |
| 受取手形及び売掛金 | 14,488 | 13,793 |
| 有価証券 | 150 | 150 |
| 商品及び製品 | 23,237 | 22,552 |
| 仕掛品 | 2,020 | 2,141 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,142 | 2,186 |
| 未成工事支出金 | 135 | 338 |
| 繰延税金資産 | 2,412 | 2,271 |
| その他 | 2,233 | 2,629 |
| 貸倒引当金 | △276 | △255 |
| 流動資産合計 | 64,864 | 64,596 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 28,638 | 28,260 |
| 減価償却累計額 | △18,677 | △18,474 |
| 建物及び構築物(純額) | 9,961 | 9,785 |
| 機械装置及び運搬具 | 11,710 | 11,296 |
| 減価償却累計額 | △9,221 | △8,964 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 2,489 | 2,332 |
| 土地 | 14,456 | 14,330 |
| 建設仮勘定 | 670 | 495 |
| その他 | 3,223 | 3,133 |
| 減価償却累計額 | △2,496 | △2,452 |
| その他(純額) | 727 | 680 |
| 有形固定資産合計 | 28,305 | 27,625 |
| 無形固定資産 | 638 | 564 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 13,633 | 12,311 |
| 長期貸付金 | 50 | 38 |
| 繰延税金資産 | 614 | 220 |
| その他 | 859 | 872 |
| 貸倒引当金 | △106 | △101 |
| 投資その他の資産合計 | 15,052 | 13,340 |
| 固定資産合計 | 43,995 | 41,530 |
| 資産合計 | 108,859 | 106,127 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年5月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成28年8月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 3,305 | 2,492 |
| 短期借入金 | 2,676 | 2,299 |
| 未払法人税等 | 985 | 1,399 |
| その他 | 4,002 | 3,590 |
| 流動負債合計 | 10,970 | 9,781 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,356 | 2,346 |
| 繰延税金負債 | 2,383 | 1,587 |
| 退職給付に係る負債 | 3,055 | 2,936 |
| 役員退職慰労引当金 | 345 | 352 |
| その他 | 862 | 802 |
| 固定負債合計 | 9,002 | 8,025 |
| 負債合計 | 19,972 | 17,807 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 13,500 | 13,500 |
| 資本剰余金 | 10,793 | 10,793 |
| 利益剰余金 | 66,980 | 69,861 |
| 自己株式 | △4,477 | △4,478 |
| 株主資本合計 | 86,796 | 89,677 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 5,234 | 4,251 |
| 為替換算調整勘定 | △2,842 | △5,323 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △443 | △428 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,949 | △1,500 |
| 非支配株主持分 | 141 | 142 |
| 純資産合計 | 88,886 | 88,319 |
| 負債純資産合計 | 108,859 | 106,127 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年8月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年8月31日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 15,047 | 15,630 |
| 売上原価 | 5,307 | 5,106 |
| 売上総利益 | 9,740 | 10,523 |
| 販売費及び一般管理費 | 5,902 | 5,758 |
| 営業利益 | 3,837 | 4,764 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 32 | 34 |
| 受取配当金 | 135 | 157 |
| 受取賃貸料 | 53 | 51 |
| その他 | 33 | 36 |
| 営業外収益合計 | 254 | 279 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 20 | 20 |
| 為替差損 | 49 | 111 |
| その他 | 30 | 13 |
| 営業外費用合計 | 99 | 145 |
| 経常利益 | 3,992 | 4,899 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 27 | 5 |
| 特別損失合計 | 27 | 5 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 3,964 | 4,894 |
| 法人税等 | 1,446 | 1,321 |
| 四半期純利益 | 2,518 | 3,572 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 9 | 16 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 2,509 | 3,556 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年6月1日 至 平成27年8月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年6月1日 至 平成28年8月31日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 2,518 | 3,572 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 97 | △982 |
| 為替換算調整勘定 | 828 | △2,482 |
| 退職給付に係る調整額 | △3 | 14 |
| その他の包括利益合計 | 922 | △3,450 |
| 四半期包括利益 | 3,441 | 121 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 3,439 | 107 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 1 | 14 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年6月1日至平成27年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-------------------|------------|------------|-------|--------|--------------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 国内卸売 事業 | 海外卸売 事業 | 小売事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 4,726 | 8,394 | 1,851 | 14,972 | 75 | 15,047 | - | 15,047 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 205 | 650 | 0 | 855 | 10 | 866 | △866 | - |
| 計 | 4,931 | 9,044 | 1,851 | 15,827 | 86 | 15,914 | △866 | 15,047 |
| セグメント利益又は損失(△) | 2,422 | 3,473 | △57 | 5,838 | △25 | 5,812 | △1,974 | 3,837 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、官公庁・民間向けの造園工事の施工、人材派遣業であります。

2. セグメント利益の調整額△1,974百万円には、セグメント間取引消去27百万円、たな卸資産の調整額△207百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,794百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の研究部門及び親会社本社の管理部門に係る費用等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年6月1日至平成28年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-------------------|------------|------------|-------|--------|--------------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 国内卸売 事業 | 海外卸売 事業 | 小売事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 4,924 | 8,904 | 1,661 | 15,490 | 139 | 15,630 | - | 15,630 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 211 | 582 | 0 | 794 | 9 | 803 | △803 | - |
| 計 | 5,135 | 9,486 | 1,661 | 16,284 | 149 | 16,433 | △803 | 15,630 |
| セグメント利益又は損失(△) | 2,501 | 4,302 | △126 | 6,678 | △23 | 6,654 | △1,889 | 4,764 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、官公庁・民間向けの造園工事の施工、人材派遣業であります。

2. セグメント利益の調整額△1,889百万円には、セグメント間取引消去24百万円、たな卸資産の調整額△78百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,836百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の研究部門及び親会社本社の管理部門に係る費用等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。